

「広島県・呉PCRセンター」業務終了にあたって (市長コメント)

歓楽街における新型コロナウイルス感染症患者の発生を受け、呉市では、積極的疫学調査を迅速かつ徹底して行うとともに、歓楽街の徹底した検査を行うため、県が設置した臨時のPCR検査センター（広島県・呉PCRセンター）などで、感染拡大防止に取り組んでまいりました。

広島県・呉PCRセンターは、10月2日から11日までの10日間、広く、店舗等の店主、従業員、来店者等を対象に検査を受けていただき、検査数は611件となり、全ての方の検査結果は陰性でした。

また、9月30日以降、歓楽街において新たな感染症患者は確認されていません。

今後、感染症患者が散発的に発生する可能性は残されていますが、歓楽街関連が疑われる全ての感染症患者の積極的疫学調査を迅速に進め、濃厚接触者等の特定、必要なPCR検査の実施も10月10日までに既に終えております。従って、現時点で、歓楽街において新規の感染が広がっている状況ではないと考えております。

また、本市では、呉市食品衛生協会、呉飲食組合、呉観光社交事業組合、呉スタンドバー組合等の依頼を受け、10月3日（18時から）は中通と本通地区の約160店舗に、5日（18時から）は広商店街地区の30店舗に対し、感染予防のための夜間啓発活動を行いました。

さらに広島県・呉PCRセンターの検査の案内に併せて、感染予防の啓発リーフレットを約670店舗に送付いたしました。

今回の歓楽街におけるクラスター発生に伴い、特に飲食事業者については、非常に厳しい状況です。

今後とも呉市では、呉市食品衛生協会などの団体と協力し、一緒に啓発活動や情報提供に取り組んで参ります。

また、クラスター発生の影響を受けている多くの飲食店を応援するため、呉商工会議所をはじめ約10団体が結束し、30%の特典付き飲食券「食べてクレチケット（1,000円券13枚綴りで10,000円）」を10月20日に発売されます。

30%の特典は、全額市が補助いたします。「食べてクレチケット」を起爆剤に再び市内が盛り上がるよう、市としましても、こうした活動に対し、でき

る限りの支援を行いたいと考えています。市民の皆様も是非ご活用いただき、これまで控えておられた分も含めて、これまで以上に市内で飲食していただき、お店を応援していただくようお願いいたします。

また、歓楽街の感染症対策のほか、高齢者施設等につきましても、しっかりと対策を続けてまいります。

クラスターが発生した介護老人保健施設では、現在、施設外への感染の拡がりは確認されていない状況ですが、引き続き、当該事業者を指導・支援してまいります。高齢者施設等につきましては、広島県の事業を活用して、高齢者や障害者が入所する呉市内44施設の職員に対し、月1回程度定期的に抗原検査を実施することで、早期に感染症患者を把握し、施設内の感染拡大を防ぐことといたします。

今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、全力で対応してまいります。

市民の皆様方には、引き続き「3つの密」の徹底的な回避、体調管理、マスク着用、手洗い、咳エチケット等の感染症対策など、新しい生活様式を実施していただきますよう、併せてお願いいたします。

呉市では、帰国者・接触者外来及び地域外来・検査センターのほかに、かかりつけ医等の判断により唾液によるPCR検査ができる医療機関もあります。県により、かかりつけ医に相談すれば、必要な場合、新型コロナウイルス感染症の診断や検査等を行ってもらえる医療機関等を紹介してもらえる体制の構築も近日中に予定されています。体調が悪いと感じた時は、不安を抱えたまま過ごされることなく、仕事を休み、外出を控え、できるだけ早く、かかりつけ医に電話で相談してください。このことについては、呉市からも医師会に重ねてお願いしております。

最後になりますが、感染者・医療関係者やそのご家族を、特に陽性者が確認された施設や学校に対し、誹謗中傷することは決して行わないでください。